

公益財団法人 林レオロジー記念財団
平成 28 年度事業計画書

本財団は、わが国の食料品製造機械産業における研究開発を支援するための助成事業、人材育成事業等を行い、日本の食品産業の育成に寄与すること。並びに各国、地域独自の食文化の発展、再興、普及の促進に寄与することを目的とした活動を行う。

【公益目的事業費】

1 奨学金給付事業

本事業は財団の目的を理解し、食品産業の学術研究において将来の発展が期待できる大学生、大学院生、専門学校生を対象に奨学金給付事業を行う。

平成 27 年度の応募者総数は 195 名〔大学院生：128 名（内訳：2 年生 61 名、1 年生 67 名）、大学生：64 名（内訳：4 年生 39 名、3 年生 25 名）、専門学校生：3 名〕あり、「奨学生選考規定」に基づき下記のとおり決定し、奨学金給付を実行する。

| No. | 予算の内容 | 予算額 (千円) |
|------------|-------------------------------|---------------|
| (1) | 大学院 2 年生:月額5万円を1年間、27 名に給付する。 | 16,200 |
| (2) | 大学院1年生:月額5万円を2年間、25 名に給付する。 | 30,000 |
| (3) | 大学4年生:月額3万円を1年間、17 名に給付する。 | 6,120 |
| (4) | 大学3年生:月額3万円を2年間、5名に給付する。 | 3,600 |
| (5) | 専門学校生:月額3万円を1年間、2名に支給する。 | 720 |
| (6) | その他公益目的事業に必要な費用 | 4,750 |
| 公益目的事業費 合計 | | <u>61,390</u> |

本事業の予算総額は、特定費用準備資金取崩額及び、平成 27 年度期末配当金（6 月末受領予定）の開示資料及び平成 28 年度中間配当金(12 月受領予定)の予想を勘案し、事業計画を立案した。

2 特定費用準備資金の積立て

45,000 千円

積立目的：奨学金給付事業を安定して継続運営ができる環境を整えること及び奨学金給付事業の拡大を図ることを目的とする。

積立限度額：45,000 千円以下とする。

取り崩し計画：平成 28 年度から 7 年間以下とする。